

東通村漁業連合研究会「スルメイカ漁況の見通しに係る研修会」を開催

5月31日（月）、村体育館において、村漁業連合研究会（伊勢田啓二会長）主催による「平成22年度スルメイカ漁況の見通しに係る研修会」が行われました。

40名が参加した今回の研修会では、講師の地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所 漁場環境部 主任研究員 高橋進吾氏から近年の漁獲動向や水温分布に基づく漁況の見通しについて講演がなされました。

高橋主任研究員によると、日本海及び津軽海峡、太平洋における漁況の見通しは、次の通り予測されるとのことです。

「本年のスルメイカ漁は、日本海では主に秋季発生系群によるが、小型が多く、分布量も少ないことから、来遊量は前年および近年平均を下回り、漁期も近年平均よりも遅く、魚体の大きさも平均より小型であると予測されます。

また、津軽海峡・太平洋側での予測は、現在調査中の冬季発生系群の分布量にもよるが、現在の海況は、水温は低く漁期も遅れ気味。7月中旬に発表予定の太平洋スルメイカ漁況予報など、今後の動向に注意してください。」とのことでした。

参加者は「近年平均より減少傾向」となりそうな今年のスルメイカ漁に不安そうな表情を見せながらも、熱心に耳を傾けていました。



挨拶をする伊勢田会長（左）



講師 高橋進吾主任研究員（右）



熱心に講演を聞く参加者の皆さん

母と子の交通安全教室～白糠幼稚園～

6月18日（金）、白糠幼稚園において、母と子の交通安全教室が開催されました。

これは、園児たちにお母さんと一緒に、交通ルールを学んでもらおうと、老部駐在所の柊澤節三氏の指導のもとに実施されたものです。

最初に、先生から横断歩道の正しい歩き方などの説明があり、その後ビデオ上映が行われ、楽しみながら交通ルールのことを学びました。また、駐在さんからは、最近の交通事故の傾向から、信号のない交差点等においては、運転者の左右の確認を十分するよう、お母さんたちに指導がありました。

最後に、実際に横断歩道を渡り、この日学んだことを実践しました。園児たちは、実際に車が通ったりすることにとまどいながらも、学んだことを思い出しながら一生懸命、正しく横断歩道を渡りました。

今後も正しい交通ルールを守り、安全に生活できるよう心がけましょう！

